

# 調査・研究委員会

委員長 板谷 英彦      副委員長 中島 渉      副委員長 渡辺 浩子

## 1. 役割と基本活動方針

診療報酬における医療機器の適正評価などJIRAの戦略や諸活動の基礎となる独自の市場統計等の基礎データの収集を継続実施して、事業環境、事業形態の変化に合わせてそれを改善していくほか、画像医療システムの導入状況調査など会員各社に影響を与える諸事項の調査・研究を実施する。

最近のCOVID-19感染症等における市場動向、医療期間等での導入状況等が大きく変化している点、変化していない点に関しても、継続した基礎データの収集、公開により、それらの傾向を反映した調査結果等を提供している。

## 2. 2021年度の主な活動計画と実績・成果

### 2.1 市場統計

#### (1) 市場統計の概要

調査対象：画像医療システムの生産高・輸出高・輸入高及び国内市場

調査品目：約100品目、調査間隔：月単位

#### (2) 統計参加企業への報告

月ごとの画像医療システムの生産・輸出・輸入・国内市場の金額を集計して、月・四半期・半年期・年度・暦年ベースで市場統計データとして統計参加企業にWebシステムで遅滞なく、報告した。

#### (3) 一般会員への公開

一般会員には、2011年度から、JIRAホームページ上に「JIRA市場統計（一般会員向け）」の専用ページを設け、四半期・半年期・年度・暦年ベースで「総括表」と「レビュー」の公開を開始し、2021年度も継続した。

#### (4) 市場統計の継続的な精度確保

各社の市場統計担当者向けのアンケートを実施し、明確化が必要な項目を把握した上で、JIRA-Statの説明も含め、2022年1月にVOD視聴（1週間）の説明会を実施。事後のアンケートから各社の担当者が、市場統計の重要性を再認識された。

継続して変わらないデータ収集のため、COVID-19等によると思われる市場変化などもタイムリーに示すことができた。

#### (5) タイムリーな市場予測（受注統計の検討）

JIRA市場統計は、売上ベースの市場統計に加えて、市場環境の変化をさらにタイムリーに把握するため、受注から納品まで比較的長い期間を要する大型画像診断装置について、新たに受注ベースの市場統計の具体化検討を実施。21年度に受注統計検討WGを立ち上げ検討を着手、22年度内の運用開始を目標に活動を推進中。

### 2.2 導入実態調査

#### (1) 調査の概要

全国の約1000の医療機関を対象に行った「画像医療システム等の導入状況と安全確保状況

に関する調査」(導入実態調査と記す)にて、医療機関における画像医療システムの導入状況、安全点検・安全確保の実態を調査した。2021年度は、第19回目の調査となる。前回到引き続き、COVID-19での医療期間等の負担などの影響なども含めて、関係者と討議して継続して実施することとした。

(2) 調査報告の公開

調査報告書は関係省庁・学会・団体に配布し、その概要をJIRA ホームページに掲載した。また、説明会(Web VOD)を2021年11月(15日間)に実施。

(3) 調査報告の活用と成果

経済部会などと連携の上、関係団体とも協力し、保守点検実施による医療機器の安全確保の啓発活動を積極的に行った。

(4) 追加調査項目

継続した基礎的な設問だけでなく、COVID-19の機器の更新や保守契約に対する影響の設問、及び検査にかかる人員時間への影響、並びに医療機器安全に伴う研修、情報セキュリティなどの設問も実施した。

### 3. 2022年度の活動計画概要

2022年度は、JIRA 市場統計システムを継続的に実施し、Web を活用した入力・集計システム(JIRA-Stat)を用いたJIRA 市場統計システムの円滑な運営と信頼性向上に向けた活動をすると共に、「画像医療システム等の導入状況及び安全性確保状況に関する調査(以下、導入実態調査と記す)」を継続し、第20回目として実施する。

基本的な活動の方針は、基礎的なデータを、環境の変化を考慮して、継続して、精度を維持、確保して収集し、提供していく。

#### 3.1 市場統計

- (1) JIRA 市場統計の精度確保を継続した上で、関係部会/委員会とともにJIRA 会員に公開を継続する。
- (2) 継続性を確保しつつ、必要に応じて調査品目の分類等の再検討を関係部会/委員会と共に実施する。さらに、販売方法の多様化に合わせたJIRA 市場統計の改良等の検討を実施する。
- (3) JIRA 市場統計の継続した精度確保のために、市場統計システムのリプレースを円滑に実施し、効果的、効率的に信頼性のある統計の作成を継続する。
- (4) JIRA 会員企業にさらに有用な方法で報告を実施する。ニューノーマルの時代を見据え、地方からの参加も容易なようにWeb 活用を最大化する。
- (5) JIRA 市場統計は、売上ベースの市場統計に加えて、市場環境の変化をタイムリーに取得するため、受注から納品まで比較的長い期間を要する大型画像診断装置について、新たに受注ベースの市場統計について、21年度に受注統計検討WG を立上げ検討を着手。22年度内の運用開始を目標に活動を推進する。

#### 3.2 導入実態調査

- (1) 診療報酬改定や安全性確保などのJIRA 内外の基礎データとするための導入実態調査を継続して実施する。
- (2) 調査項目は、導入状況、保守・安全確保状況、安全管理体制の調査を柱とする。
- (3) 調査報告書は、関係の省庁、学会、団体に共有すると共に、そのポイントはJIRA ホーム

ページを通じて広く公開し、経済部会、広報委員会などと連携の上で広報し、健全な産業の発展のための諸活動の基礎データとする。説明会はWeb活用を最大化する。

(4) 調査項目は、継続性を確保しつつ、JIRA内の関係部会/委員会と改善を検討する。

### 3.3 その他

国内外の動向を注視し、本会活動に有益な諸統計資料の調査研究などの活動を必要に応じて行う。

(参考) 市場統計より

表1 画像医療システム (生産高・輸出高・輸入高・国内市場) 2021年度通期 (4-3月)

単位: 金額: 百万円

品目	区分	生産(販売)高		輸出高		輸入高		国内市場			
		金額	前年比金額(%)	金額	前年比金額(%)	金額	前年比金額(%)	台数	前年比数量(%)	金額	前年比金額(%)
1. 診断用X線装置		150,996	103	58,797	99	27,654	129			119,853	110
システム		82,830	106	30,954	104	27,514	130	9,459	100	79,390	115
システム構成装置類		68,166	99	27,842	94	139	91			40,463	102
(システム内数)一般X線透視撮影装置		18,667	114	4,265	116	29	45	826	105	14,431	113
循環器用X線透視撮影装置		13,982	106	6,743	98	20,567	139	280	128	27,807	132
一般X線撮影装置		15,551	106	3,905	116	166	50	3,187	97	11,812	101
乳房用X線撮影装置		6,966	121	3,328	124	1,713	116	386	109	5,351	118
回診用X線撮影装置		11,376	78	7,165	75	24	24	973	82	4,235	83
歯科用X線装置		11,354	127	4,664	148	0	-	2,849	104	6,690	116
2. X線CT装置		110,363	104	68,448	104	15,940	99			57,856	103
システム		98,771	112	59,616	108	13,944	100	1,354	102	53,098	114
システム構成装置類		11,593	63	8,831	81	1,996	96			4,757	50
3. 診断用核医学装置		3,868	105	1,067	63	8,135	93			10,936	102
システム		2,000	112	491	80	7,946	94	112	87	9,455	98
システム構成装置類		1,868	99	577	54	190	73			1,481	138
(システム内数)PET関連		1,597	120	491	80	4,655	90	30	103	5,762	98
4. 診断用磁気共鳴装置		28,681	111	13,585	96	26,990	106			42,085	113
システム		28,251	111	13,485	96	25,201	109	440	112	39,968	116
システム構成装置類		429	129	100	192	1,788	76			2,117	80
5. 診断用画像処理システム		50,081	110	2,707	87	2,813	100			50,186	111
6. 関連用品		13,868	120	8,500	115	109	19			5,477	117
装置		8,776	130	5,728	121	0	0			3,048	150
器具		524	92	10	41	0	-			514	94
用品		4,568	109	2,762	104	109	20			1,916	91
7. 超音波画像診断装置		80,713	97	46,070	102	22,598	101			57,241	95
システム		50,097	88	23,258	89	21,588	101	15,123	109	48,427	93
システム構成装置類		30,616	115	22,812	119	1,010	105			8,814	103
8. 骨密度測定装置		992	166	0	-	850	88			1,842	118
9. その他の画像診断装置		181	128	5	80	0	-			176	130
診断用装置計		439,742	104	199,178	101	105,088	107			345,653	106
10. 治療用装置		8,648	55	4	0	10,433	101			19,077	102
システム		6,034	45	0	0	9,793	98	135	150	15,826	98
システム構成装置類等		2,614	113	4	-	640	184			3,250	122
合計		448,390	102	199,182	97	115,521	106			364,729	106

※国内市場 = 生産高 - 輸出高 + 輸入高

単位: 億円

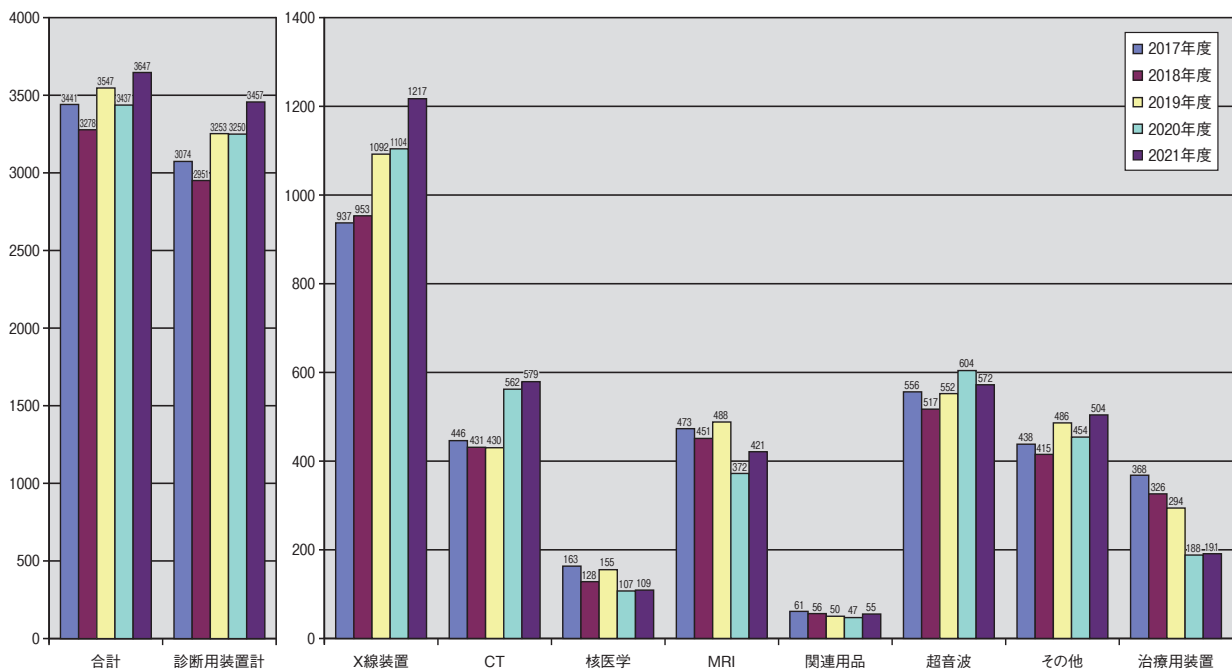


図1 主要装置 国内市場 2017年度~2021年度